

# キツネザルの肺

提出機関：ミシガン州立大学(アメリカ)

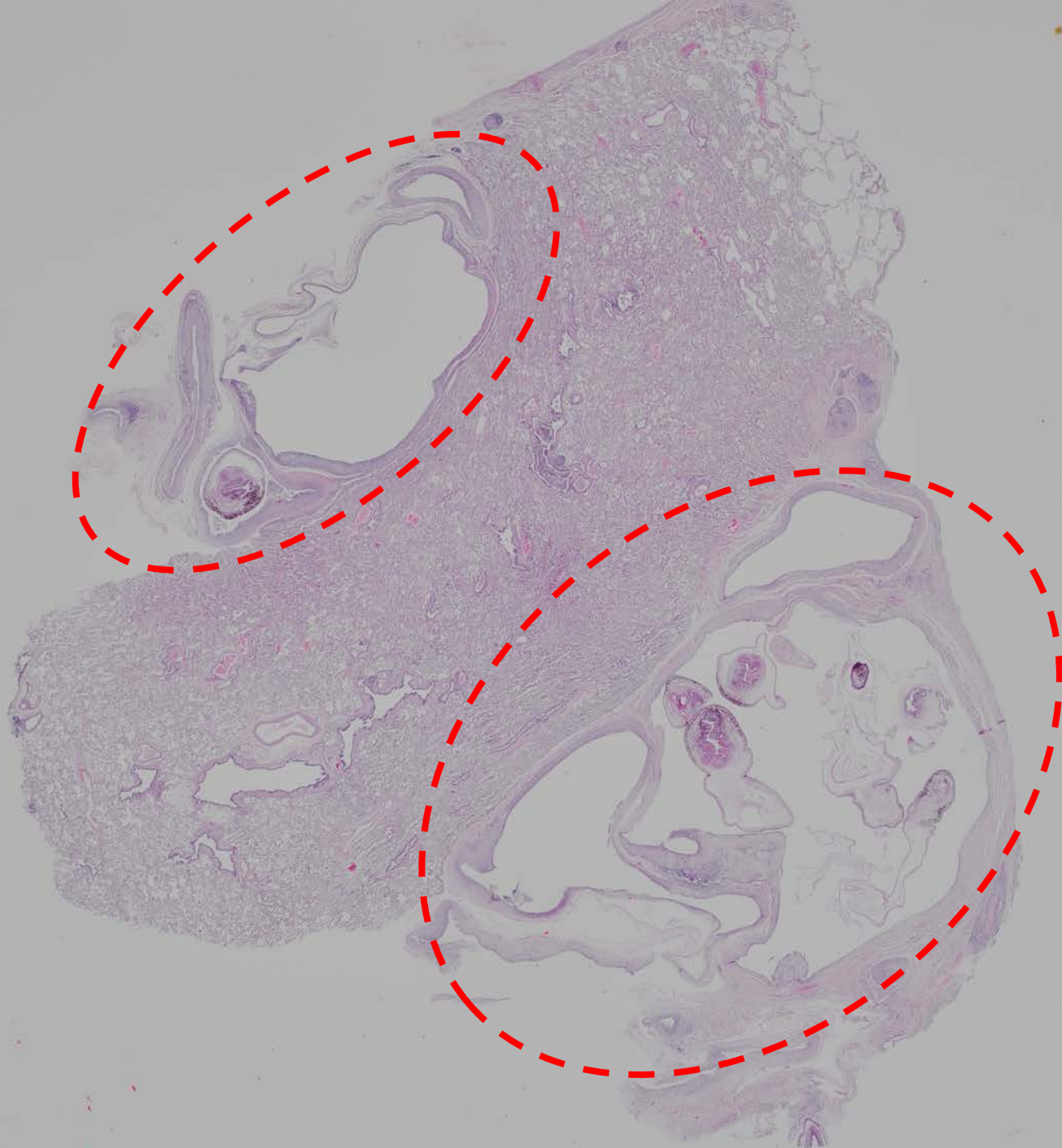
症例：キツネザル 12歳 雄



病歴：努力性呼吸が見られたため、全身麻酔を施し、検査を実施。胸部レントゲン撮影で胸腔に巨大腫瘍を確認。検査終了後も昏睡状態が続き、安楽殺を実施した。

検査結果：特に実施せず。

剖検所見：胸腔に9×7×9cmのゼラチン状の腫瘍が存在し、大部分の肺実質と置換していた。

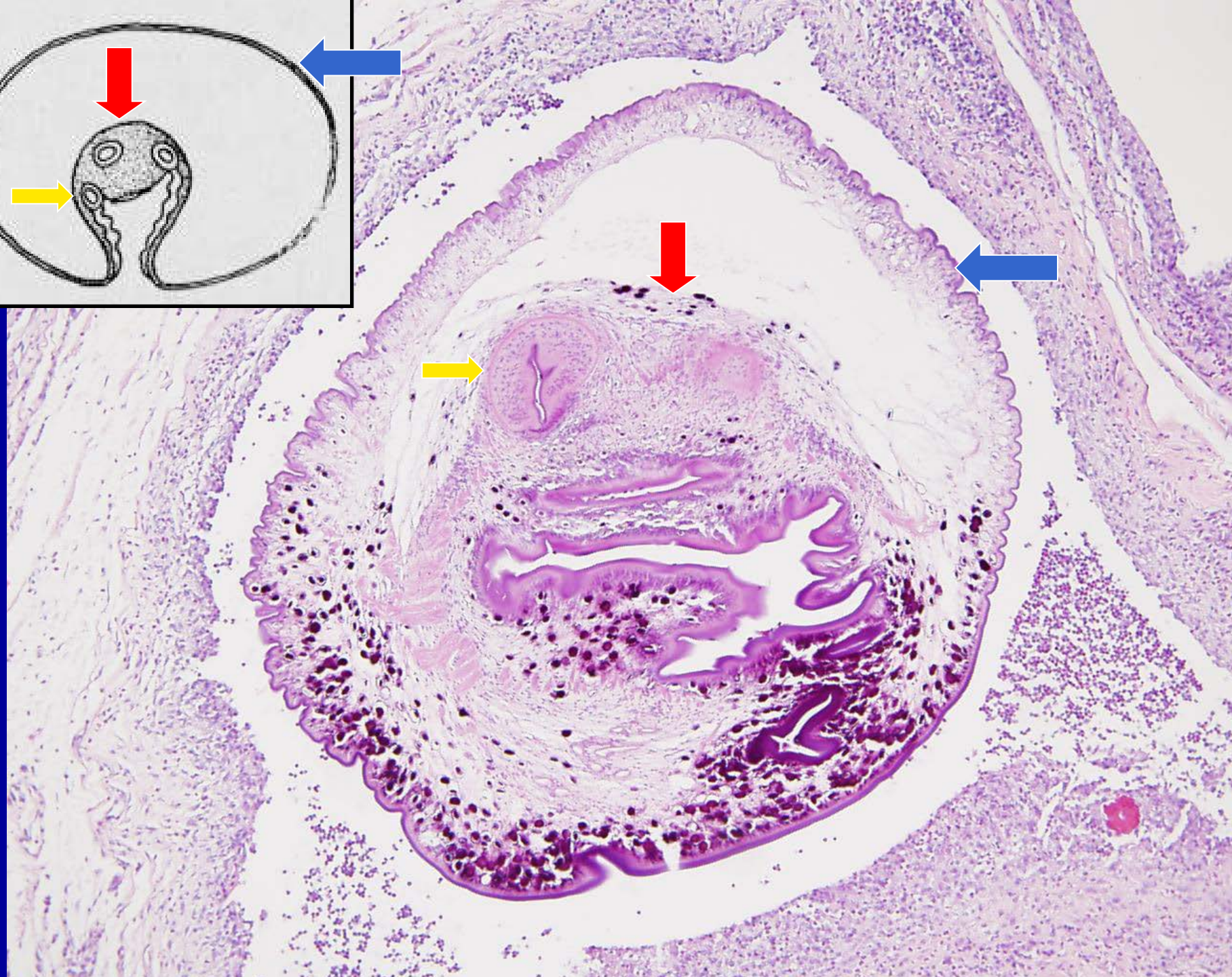
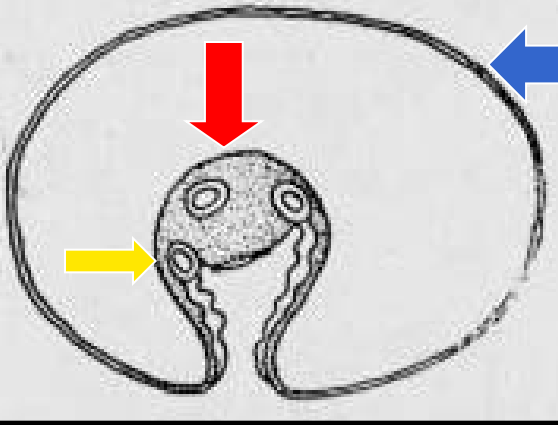




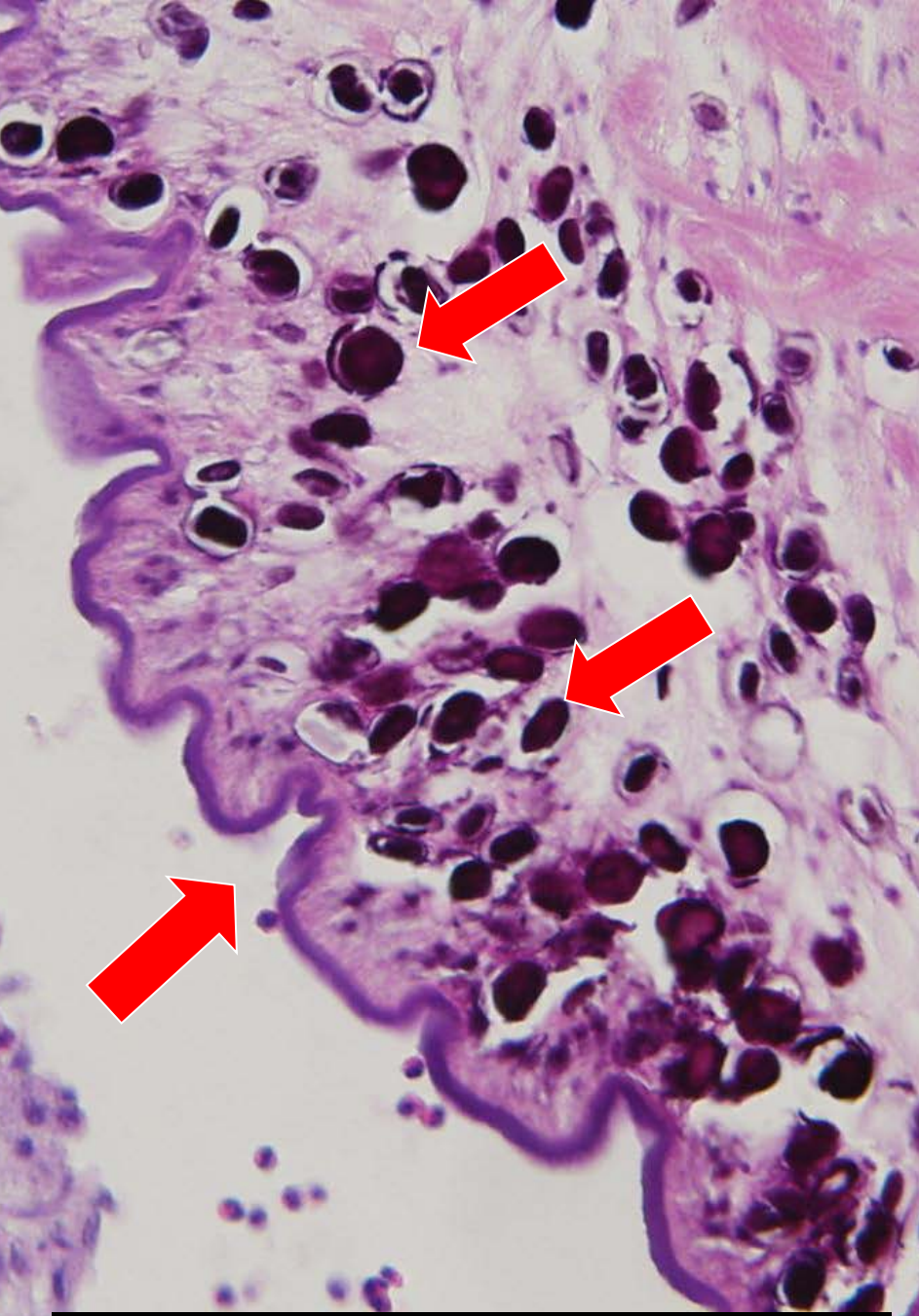


多数の囊虫 (Cysticercus) を確認







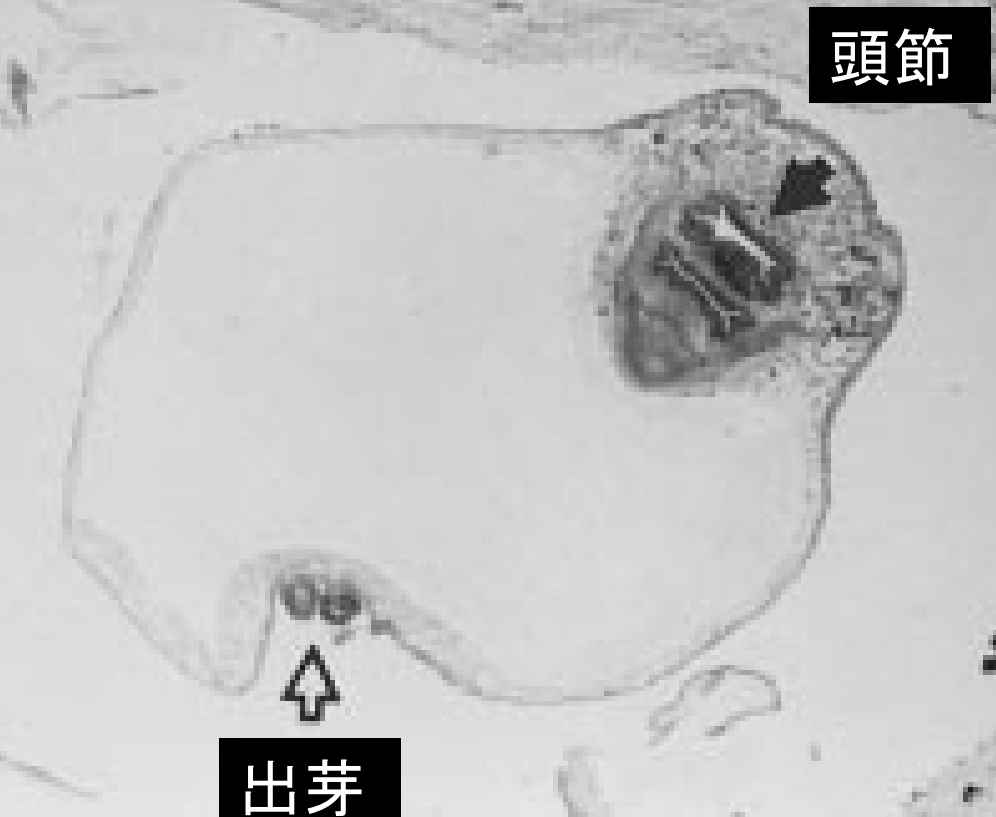


分節状の外皮と、多数の石灰小体

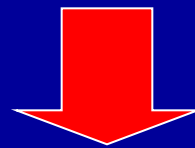


鉤のある額嘴

Severe *Cysticercus longicollis*  
cysticercosis in a black lemur (*Eulemur  
macaco macaco*)より



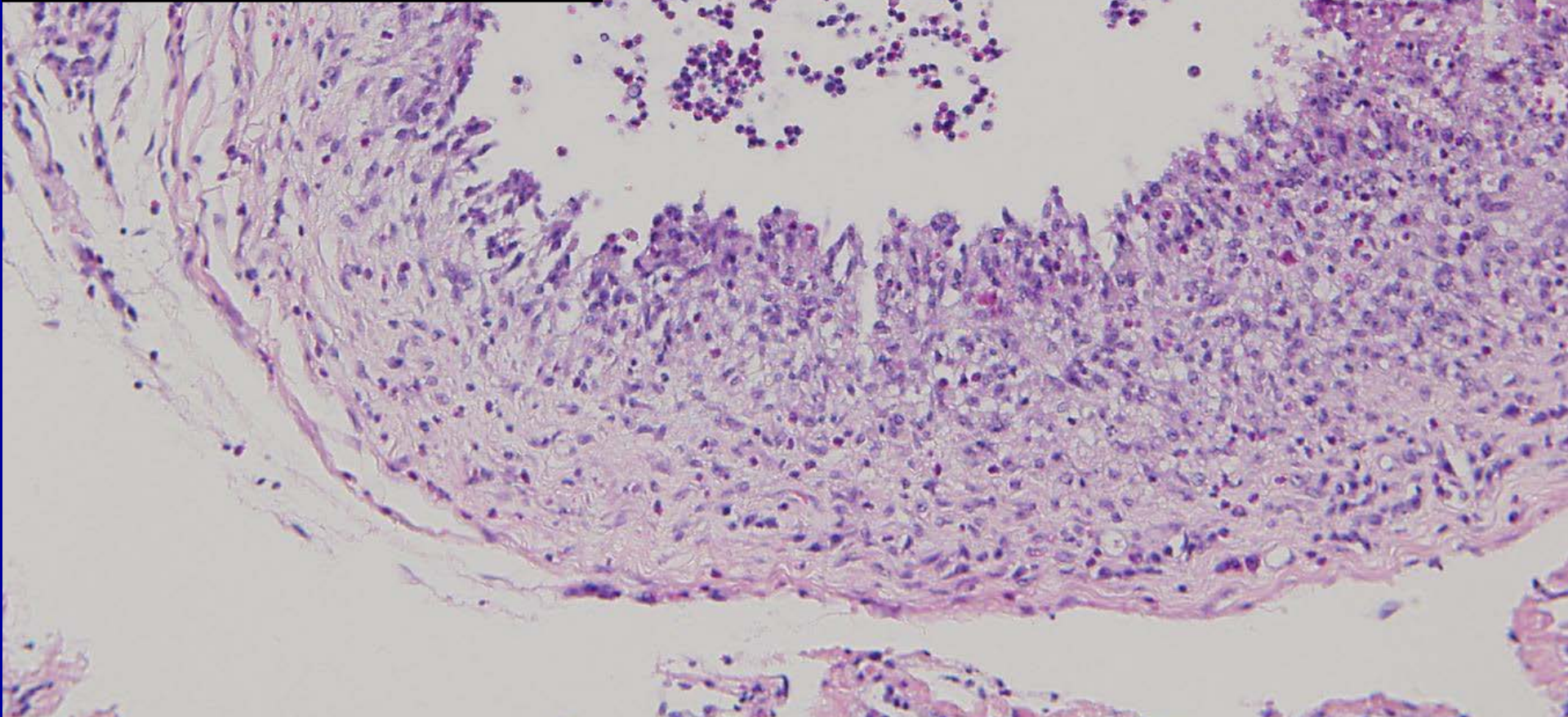
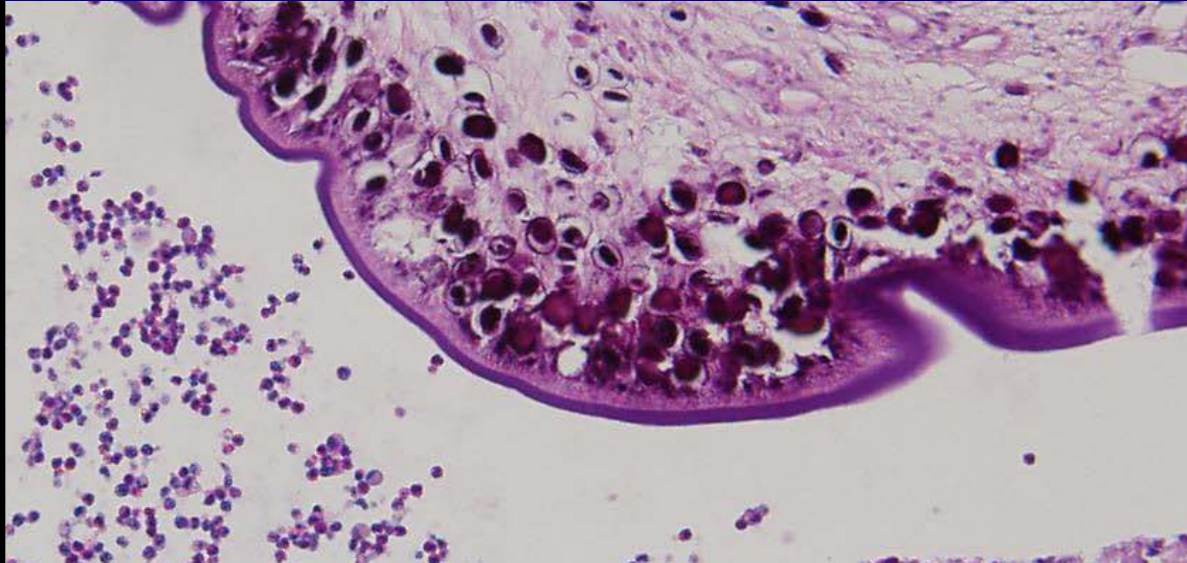
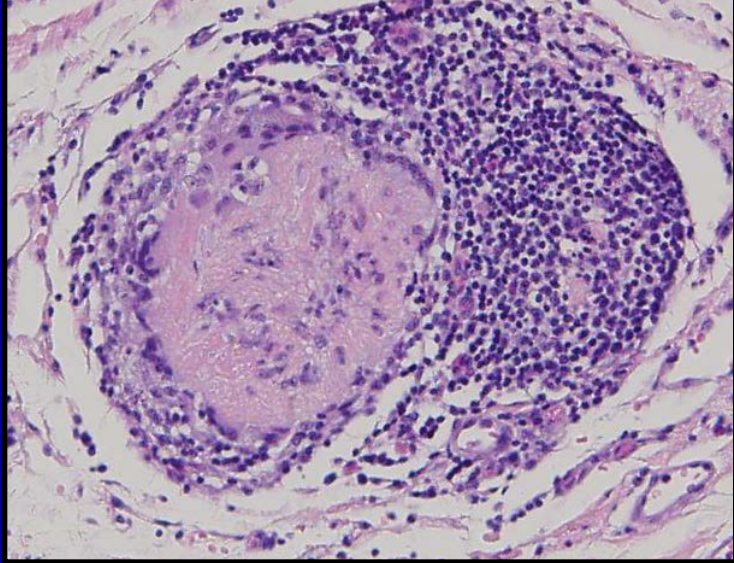
- 頭節と反対側からの、外因性の出芽がみられるスライドもある。(配布スライドでは確認できず)
- 出芽により増殖する囊虫は非常に稀である。
- 囊虫がキツネザルの肺、胸膜、腹膜に感染した症例は何例か報告あり。



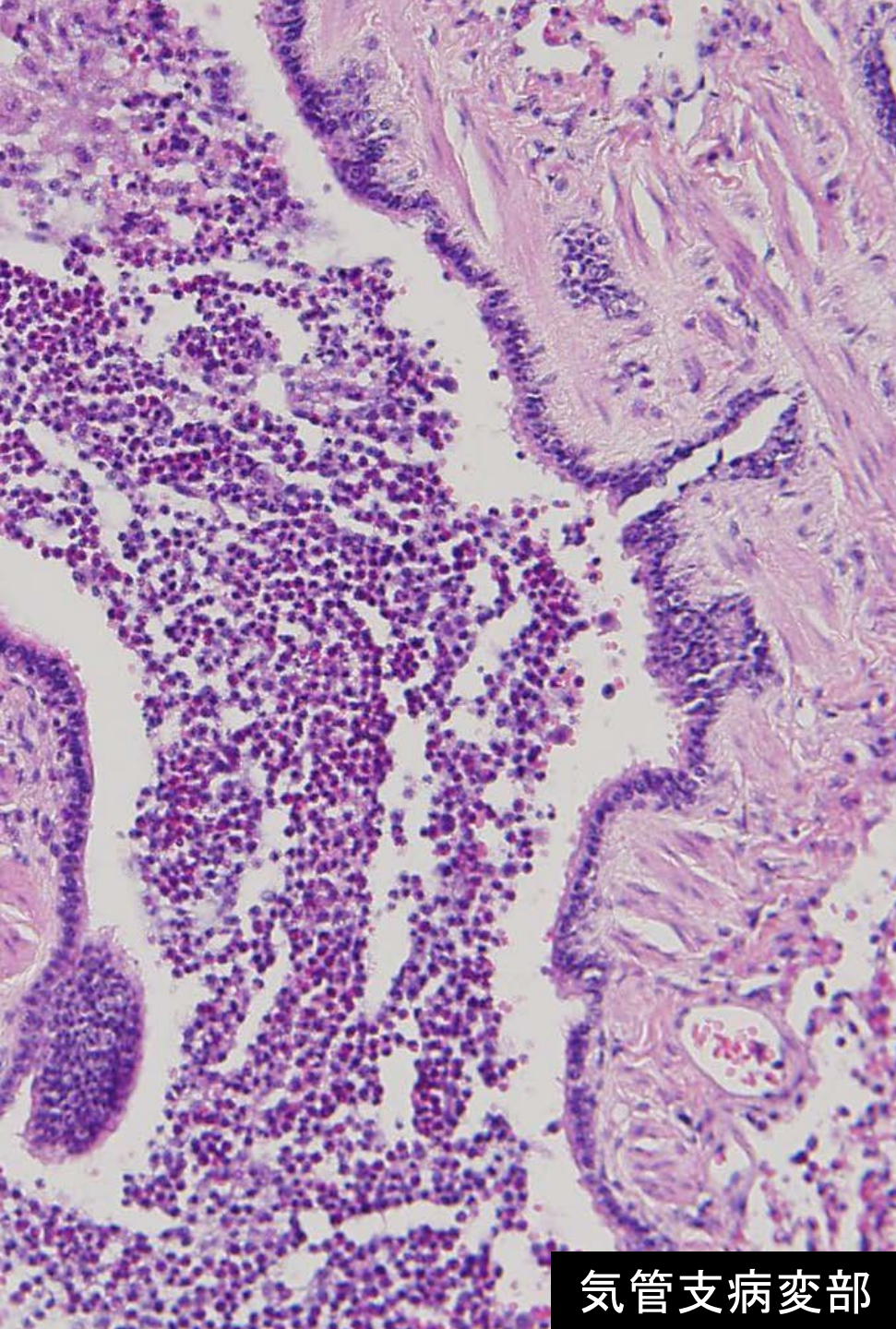
*Taenia crassiceps*の幼虫、  
*longicollis*の感染である可能性が高い。

*Cysticercus*

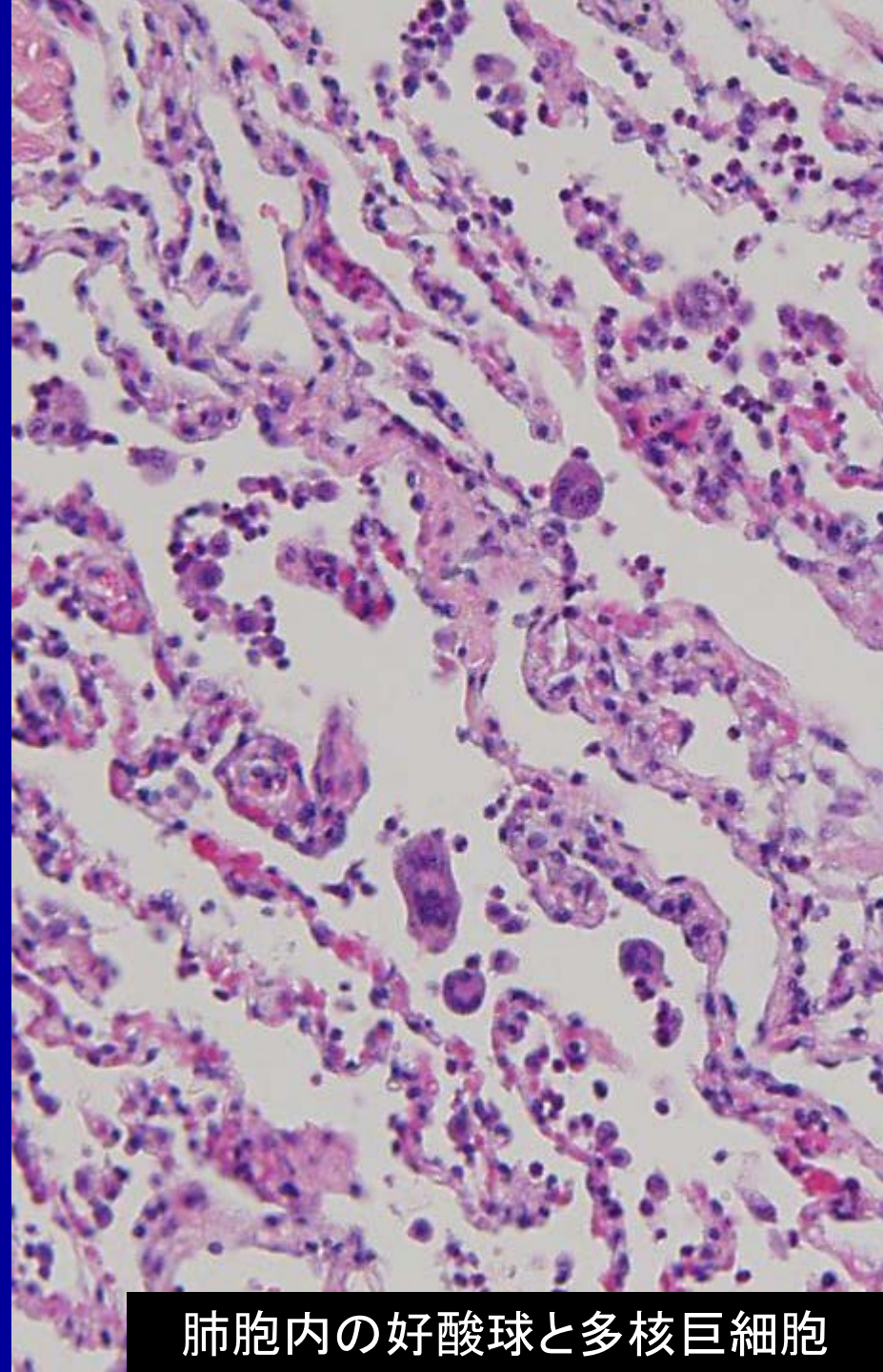








気管支病変部



肺胞内の好酸球と多核巨細胞



# 診断名

- 提出者の診断

肺：重度の肉芽腫性、線維素性、胸膜肺炎、病変内に条虫の幼虫を伴う（*Cysticercus longicollis*、*Taenia crassiceps*の幼虫と推測）

(Lung: Severe granulomatous and fibrous pleuropneumonia with intralesional larval cestodes (presumptive *Cysticercus longicollis*, the larval form of *Taenia crassiceps*))

- JPCの診断

肺：囊虫、多数、線維化と中等度の組織球性、好酸球性の肺炎を伴う

(Lung: Cysticerci, multiple, with fibrosis and mild histocytic and eosinophilic pneumonia)



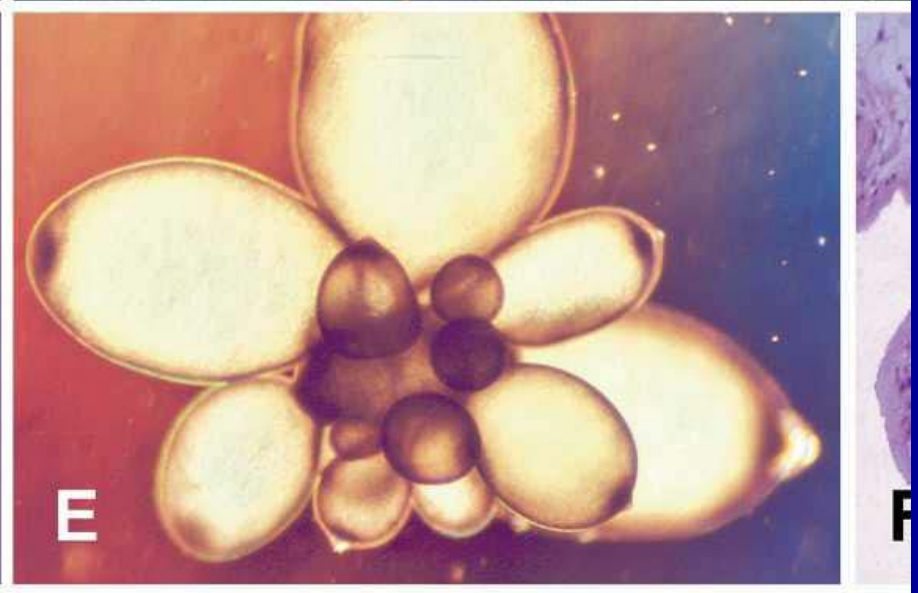
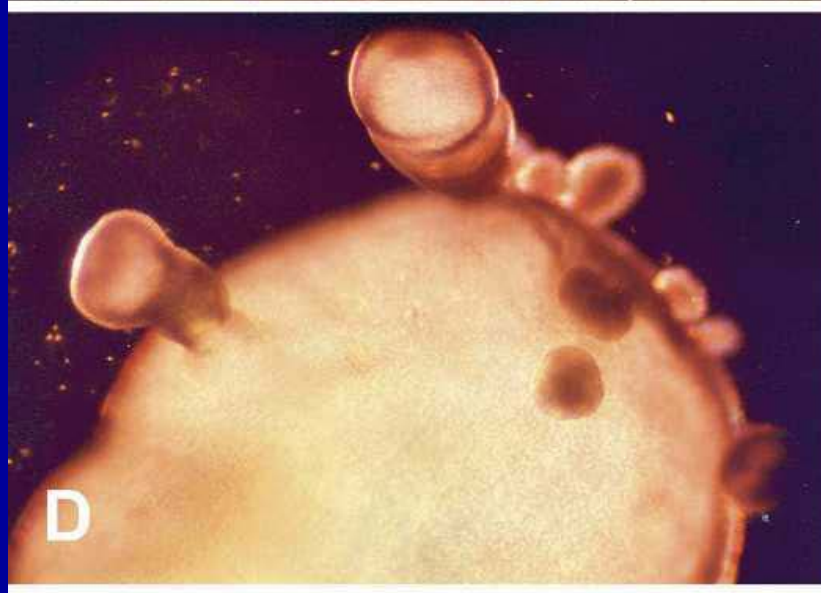
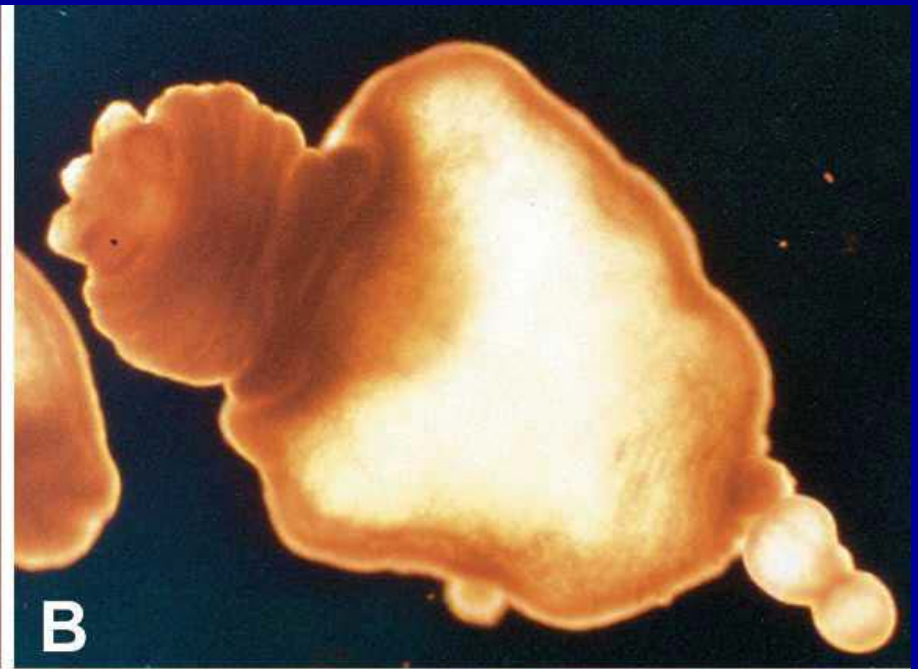
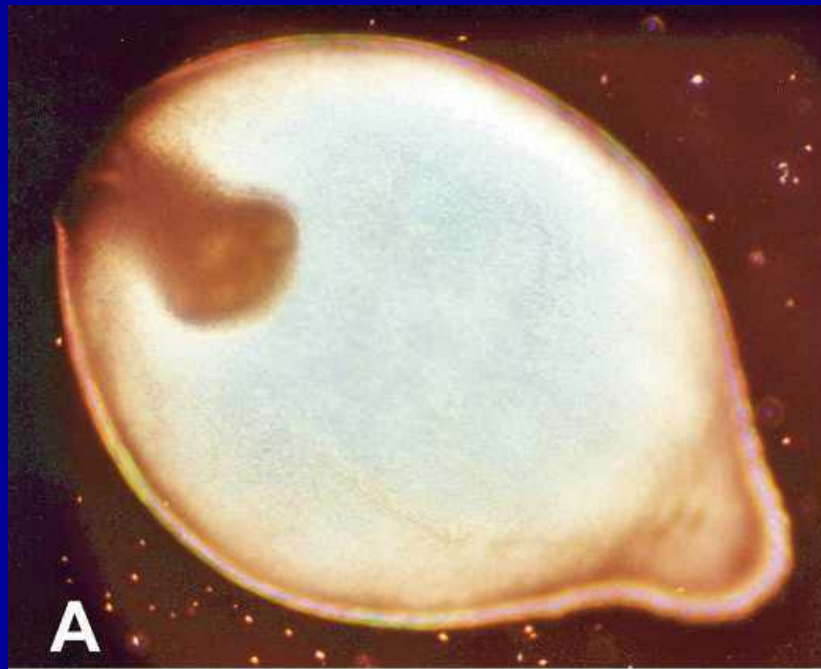
# *Taenia crassiceps*

(囊虫名: *Cysticercus longicollis*)

- 円葉条虫目条虫科。
- 成虫は平均7~14cm。
- 中間宿主はげっ歯類、固有宿主は野生のイヌ科動物(家ネコや飼い犬が固有宿主になることもある)。
- 非特異宿主への感染は、体内で囊虫の出芽による増殖を起こし、激症となりうる。
- 人獣共通感染症。症例数は多くないが、AIDs感染との関連も指摘されている。



(追加資料)



SUBCUTANEOUS *TAENIA CRASSICEPS* INFECTION IN A PATIENT WITH NON-HODGKIN'S LYMPHOMAより



# 会議録(獣医領域で重要な囊虫症)

- 条虫科には、有鉤条虫、無鉤条虫など、人獣共通寄生虫として重要なものが多い。
- 特に、条虫の幼虫は囊虫症として重要。

成虫	終宿主、寄生部位	哺乳類の囊虫	中間宿主、寄生部位
<i>Taenia solium</i> (有鉤条虫)	人、小腸	豚囊(尾)虫	豚・猪、横紋筋など 人、横紋筋、眼、皮下、脳など
<i>Taenia saginata</i> (無鉤条虫)	人、小腸	牛囊(尾)虫	牛、横紋筋